

実感空間モニターネットアンケート 「'10年 日常の食生活に関するアンケート(2)」集計結果・ダイジェスト版

■ 今回の調査について

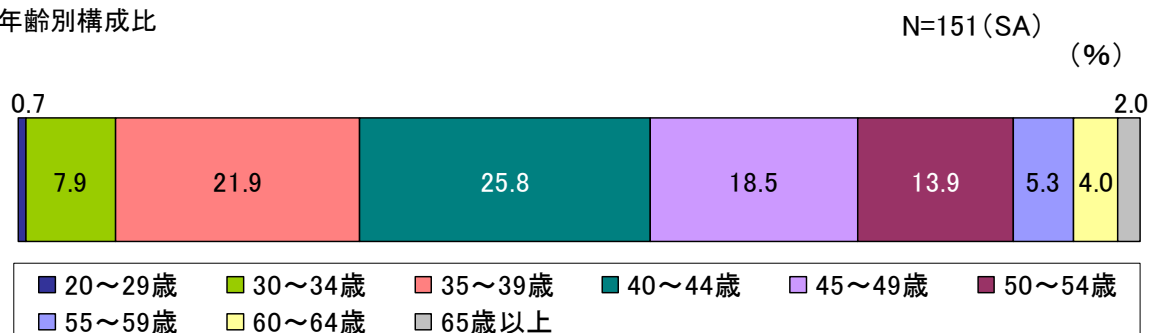
今回の調査は、1月に実施しました「日常の食生活に関するアンケート」の第2弾です。1月では「食のマイブーム」についてお伺いしましたが、今回は献立、食材、外食などについてお聞きしました。

■ 調査概要

【調査概要】

調査方法 アイ・キューブ実感空間モニターへのネットアンケート
調査期間 2010年2月10日(水)～2月15日(月)
サンプル数 151名
対象者属性

■ 年齢別構成比



■ 職業別構成比

(専業主婦49.7%、フルタイム主婦6.6%、パート・アルバイト35.1%、自由業・自営業4.6%、その他4.0%)

■ 総評

今回の調査において、食材の購入においては「安心・安全」を重視する思いは強いものの、現実の購入状況にはギャップがあること、また、景気の低迷が続く中で、外食の頻度が減少、内食化傾向が続いていることが明らかになりました。

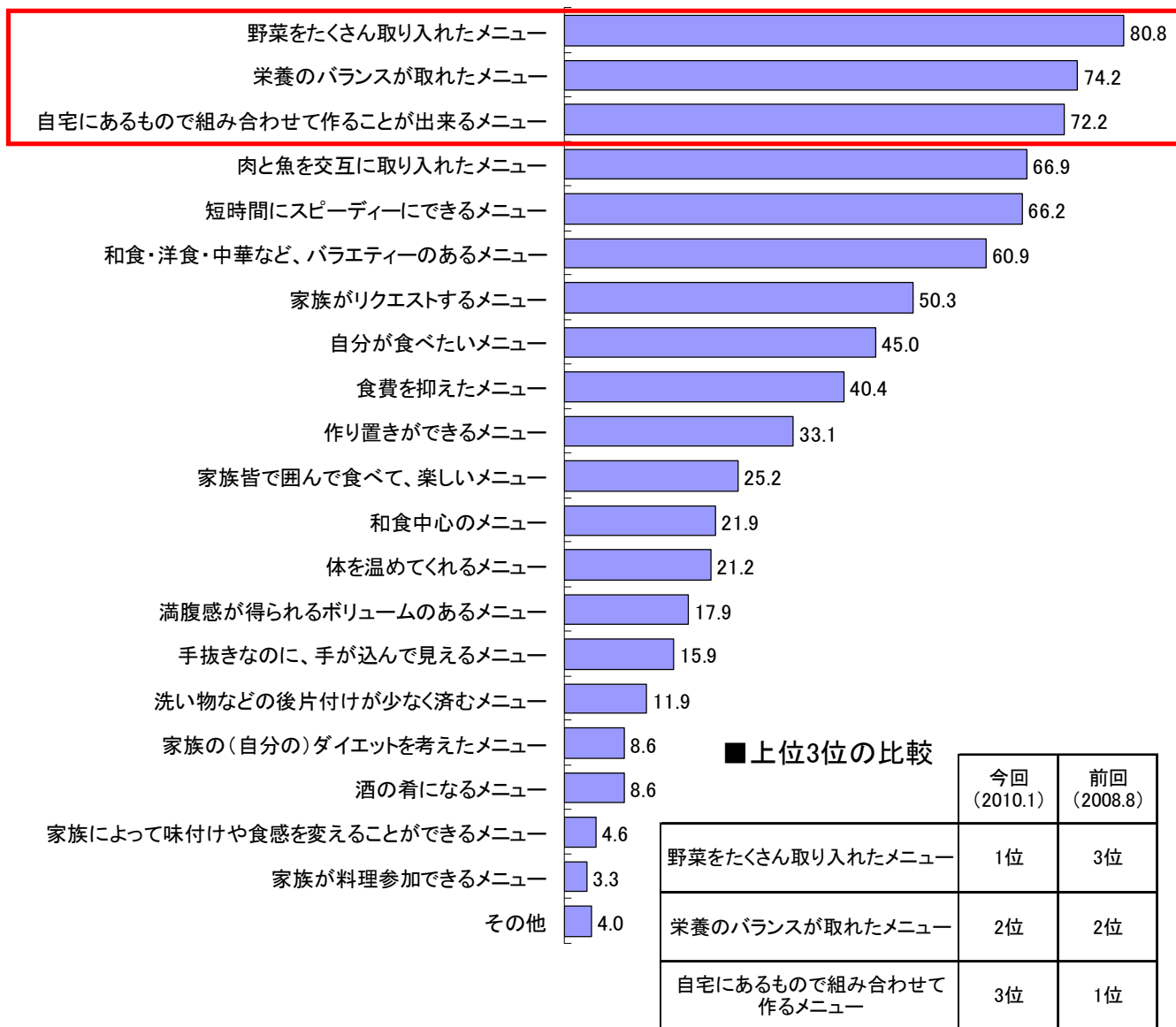
献立を立てる際に考慮していることとしては、健康面を意識して野菜を多く取り入れること、自宅にある食材をうまく組み合わせることでムダを省き、バラエティーに富んだ料理にすることが上位に来ており、手元にある食材で、いかにバランスよく、美味しく、マンネリ化しない料理を作るかを心がけている姿がうかがえます。

外食については、家族とは、家族の好みに合わせたメニューのある近場のお店、友人とは、情報収集して話題や評判を気にしながら、雰囲気も楽しめるお店と、一緒に行く相手によって、店の選び方が大きく異なっている点が特徴的でした。

■ 献立を考えたとき、考慮していること

N=151 (MA)

(%)



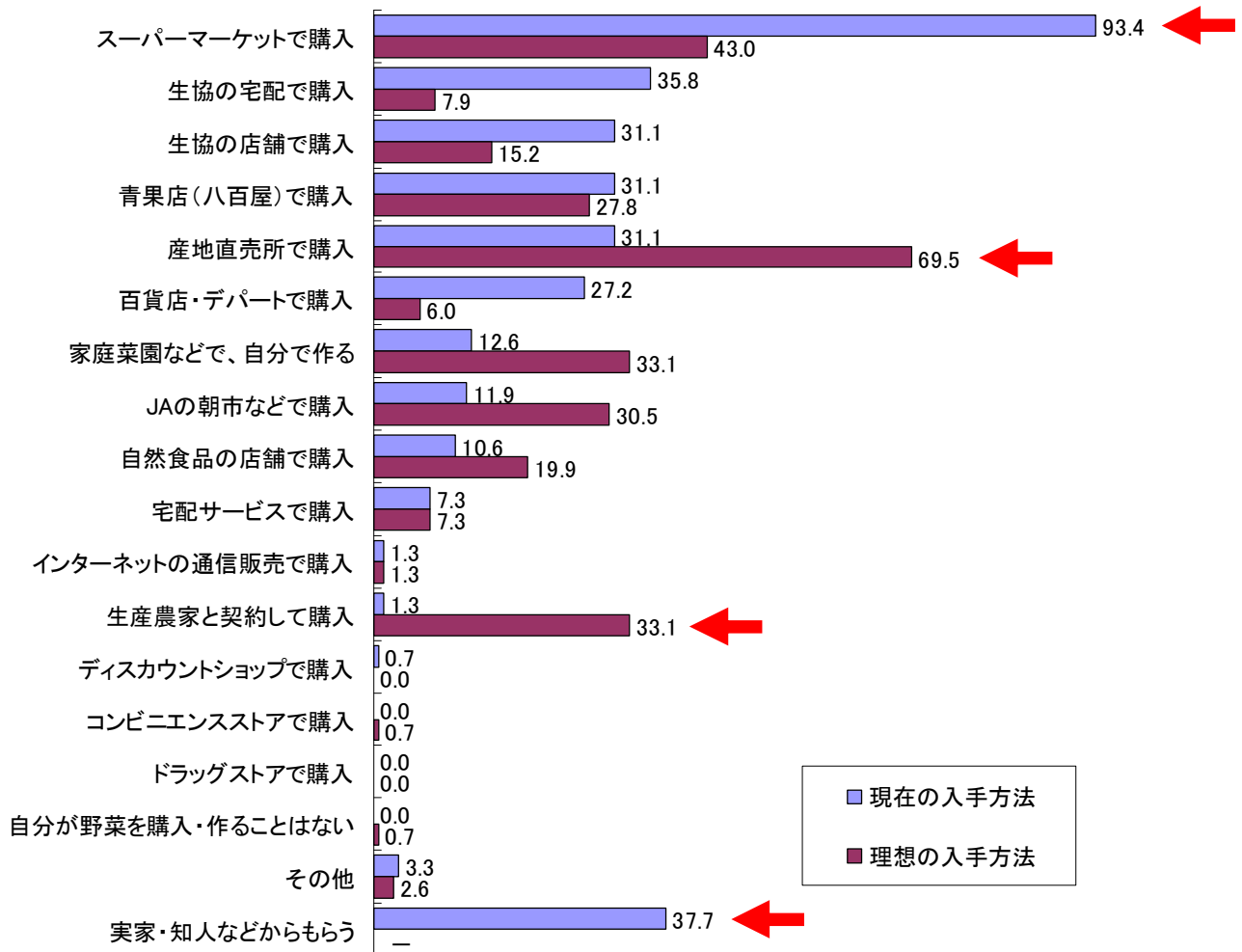
◇ 栄養バランスと自宅にある食材活用を重視。ワンパターン化を防ぐ努力も。

2008年8月に実施した同じアンケートと比較すると、上位3位に挙げたものは、順位は入れ替わったものの、項目は同じでした。「家族の健康を考えて、野菜を多く取り入れたい、栄養バランスの良い献立にしたい。」「既に購入した食材をムダにしないから、自宅にあるものをうまく組み合わせて作りたい」という思いが伝わってきます。

また、前回と比較して伸びが目立つのは、「和食・洋食・中華など、バラエティーのあるメニュー」(前回52.3%、今回60.9%)です。ここ数年、内食回帰の傾向が続くなか、献立のワンパターン化を防ぐため、意識して変化に富んだ献立を考えていることがわかりました。

■野菜の入手方法について 理想と現実

N=151 (MA)
(%)



◇理想と現実には大きなギャップ。ホッペは、「より“作り手”に近い場所で、手に入れたい」。

野菜について、現在の入手方法と理想の入手方法を比較したところ、理想と現実には大きな差があることがわかりました。

現実には「スーパーマーケットで購入」している人が93.4%とほとんどですが、理想は「産地直売所で購入」という人が多いようです。食の安心・安全に対する意識が高まり、より「作り手」「売り手」の顔が見え、安心して旬のおいしい野菜を手に入れたいと考える人は多く、家庭菜園、JAの朝市、生産農家と契約も理想と考えている人が多いことがわかりました。

また、「実家・知人などからもらう」と回答した人も37.7%と多いことがわかりました。

■ 外食の機会 (2~3年前と比較して)

N=151 (SA)

(%)



- | | |
|------------------------|------------------|
| ■ 外食をする機会が、かなり減った | □ 外食をする機会が、少し減った |
| ■ 外食をする機会は、2~3年前と変わらない | ■ 外食をする機会が、少し増えた |
| ■ 外食をする機会が、かなり増えた | |

◇ 外食の機会の増減は、経済的な理由と家族の生活スタイルの変化が関係。

2~3年前と比較して、外食の頻度が減ったという回答が過半数を占めました。「外食をする機会が、かなり減った」と回答した人が29.1%いる一方で、外食の頻度が増えたと回答した人は、「外食をする機会が、少し増えた」9.9%、「外食をする機会が、かなり増えた」2.0%、両方合わせても11.9%でした。

外食が減ったケースは、「子育て中で経済的な理由から出費を抑えたい」「子どもが成長し、家族それぞれの時間が合わなくなった」という意見が多く、また「外食の回数は減っても、好みやお店を厳選して、より満足度の高い外食をしている」という回答もありました。

逆に、外食が増えたケースは、「仕事を始めた」「子どもが独立し、経済的に余裕ができた」などがありました。外食の機会の増減には、経済的事情とともに、家族の生活スタイルの変化も大きく関係しているようです。

【外食が減った理由】

- ・子どもの教育費、その他諸々の出費が増えてきたので外食を減らすなどして出費を抑えている。(30代前半)
- ・子どもが成長し、外食すると高くつくようになったので、極力家で食べるようにしている。(30代後半)
- ・景気が低迷し、将来が心配。少しでもお金を貯めておこうと、まず、外食を減らすことにした。(30代後半)
- ・外出時、犬と一緒に連れて行くが、犬と入れる店が少ないため家で食べるようになった。(30代後半)
- ・夫のメタボが気になりだし、カロリーを考えて家庭で野菜中心のメニューを作ることが多くなった。(40代前半)
- ・長男が受験を控えているため外出が減り外食も減った。回数は減ったが高くて好みの店やホテルで食事をするようになった。(40代前半)

【外食が増えた・変わらない理由】

- ・仕事をするようになり、日曜日くらいは、と外食するようになった。子どもも連れて行きやすい年齢になった。(40代前半)
- ・家族のレジャーとして外食するようになった。子どもが成長し、食べられるメニューが増えたから。(40代前半)
- ・頻度は変わらないが、以前は、外出のついでに外食していたが、現在は、食事をするために外出するので、おいしいお店で食事をするようになった。(40代前半)
- ・交際範囲が広がった為、外食の機会が広がった。(50代前半)
- ・子どもが社会人になり、金銭的に余裕ができた。美味しいものを食べて気分よく生活したい。(50代後半)

■最近の外出は、誰と、いつ、どのようなお店へ行きますか？

◇友人との外出…ママ友とのランチは、料理だけでなく雰囲気も楽しめるお店へ

特に多かった回答は「ママ友とのランチ」でした。家族では普段行くことのない女性好みのレストランやカフェで、おしゃべりしながらお得なランチを、という意見が多数挙がっていました。「ゆっくり」、「楽しむ」という言葉が回答中多く登場し、友人との外出は、食事だけでなくお店の雰囲気も重要視されているようです。

- ・友人と有機野菜を使ったイタリアンや自然食(マクロビ)のお店にランチに行く。こういうお店は女性同士だととても盛り上がり楽しめる。(30代後半)
- ・ママ友とランチに。子どもが帰ってくるまでに帰宅したいので家に近いレストランでいただく。(40代前半)
- ・友達と1000円前後のランチに。ゆっくりおしゃべりするため、コーヒー、デザート付きがポイント。(40代前半)
- ・友人と普段食べないようなランチに行き、今後の献立の参考にする。食材の組み合わせ方など。(40代後半)
- ・友達や姉と雑誌などで見つけたお店のランチへ行く。2000円前後。食器づかいや目で味わえる料理に触れる幸せとおしゃべりを楽しむ。(40代前半)

◇家族との外出…子育て中の家族は、子どもの好きなファミレス、焼肉、回転寿司へ

家族との外出は、家族構成、家族の年齢によってさまざまな回答がありました。子育て中の家族では、近所のファミリーレストラン、回転寿司、食べ放題の焼肉へ行くという回答が特に目立ちました。また、3世代、4世代10人以上の家族が年に数回集まって外出するという回答もありました。

- ・子供が泣いて周囲に迷惑がかからないよう、どちらかといえばガヤガヤしているお店を選ぶ。(30代前半)
- ・家族と寿司屋か焼肉屋へ。息子も夫もたくさん食べるので私はヒヤヒヤ。そろそろ食べ放題のお店がいいかもしれない。(30代後半)
- ・家族で、子どもの食べたい店に行くことが多い。ビュッフェ形式のお店や、回転寿司、焼肉店など。(40代前半)
- ・週末、ショッピングセンターや郊外のレストランへ。パンがおかわりできる場所はポイント高し。(40代前半)
- ・主人が蕎麦好きなので、時々お蕎麦の美味しい店に行く。これは家庭では真似できない味なので。(50代前半)
- ・年に数回、子どもと孫の家へ行く。その時は出費覚悟で中華料理や寿司などをご馳走する。(60代前半)

◇日ごろの情報収集は重要。オススメのお店を知りたい、教えたい。

テレビ、雑誌やネットのクチコミ紹介、友人や周りから評判を聞くなど、外出の前に何らかの情報収集をするという方が多くいました。また、自分のお気に入りの店は知人に薦めたいという意見もあり、評判、クチコミが重要視されていることがわかりました。

- ・友人と外出するときは、「ぐるなび」や「食べログ」、TVで美味しいと評判のお店を選ぶ。(30代後半)
- ・ママ友達と話題のお店やおいしいお店をみんなで探してどんどん冒険している。(30代後半)
- ・友人と会うときはお得なランチに。女性向けで、紅茶やパンが美味しいクチコミのお店に行く。(40代前半)
- ・心地良いお店があれば、友達に「いいところ、見つけたよ」と言って連れて行くこともある。(40代前半)
- ・知人から評判の良い店を聞いて行くことが多い。知人の教えてくれる店は、外れがないので。(50代後半)